産業常任委員会 管内視察報告

産業常任委員会で6月6日に実施した管内視察について委員の感想を交え報告します。

①古川清見線改良工事

東海北陸自動車道、清見インターチェンジへの最短アクセス道路として古川町平岩地内に建設中の県道で、今秋に供用開始予定。事業費のうち橋梁工事費が約10億円で、１４９ｍの湾曲しているＰＣ３径間連続ラーメン箱桁橋、片持架設工法により施工している。未着工の第２工区が残るが、早く全線を完成させ、地域住民の利便性向上を図っていただきたい。

新たに建設された橋梁

②トマト研修施設

古川町信包地区にあり、飛騨市も連携しているＪＡひだ飛騨地域トマト研修所。現在３期生を受け入れ中で、「月月火水木金金でトマトに勝つぞ！」との標語どおり農業は厳しいとの意識付けからスタート。Ｉターンの若い青年が一生懸命作業されていた。ぜひ、飛騨市で根付いてほしい。

③イバタインテリア

ショールームのようす

飛騨の家具ブランドのダイニングテーブルセットを主に生産しており、工場の２階・３階に常設のショールームがある。一般の人が気軽に見学できない場所なので、街なかの空き家を利用したショールームを開設すれば、人の目に触れる機会を増やし、地場産業を盛り上げるための協力ができるのではないか。

④道の駅　宙ドーム神岡

スーパーカミオカンデでのニュートリノ研究を紹介する展示施設改修と物販棟新築計画の説明を受ける。世界的に珍しい施設となり、展示棟は学術的観点から学芸員相当の人材を配置予定。建設費総額約４億５千万円、入場無料の予定であるが入館料を徴収してもよいのではないか。飛騨市へ来たら必ず立ち寄るような場所になることを強く希望する。

展示施設建設予定地

⑤森林組合高性能林業機械

神岡町山之村地区にある作業現場を視察。人手でしていた作業が機械１台で全てでき、１本の木を切倒し、枝払い、検尺、玉切りまで、要する時間は約１分30秒。若い作業員が多く、効率が格段に速くなっているが、林業先進国のドイツと比べ日本の人工林の林道整備率は非常に低い中、今後高性能林業機械需要が高まるものと感じた。

高性能林業機械（ハーベスタ）

⑥森茂牧場

山之村牧場への移動中に車内で担当者から説明を受ける。国と県の費用で草地の整備改良をしているが、20年前に設置した柵が壊れており牧場として機能しない状況であり、早期の改修が必要。天空の牧場で放牧してストレスのない環境で牛を育てるのが一番だと感じた。

⑦山之村牧場

森茂牧場との立ち位置がわかりにくい。今後この形態を継続するのか判断が必要であると感じる。ＪＡひだ森茂営業所が廃止されるのを機として山之村全体の将来の構想を地元住民、特に若い世代としっかり考え、この地区で生計が立てられるよう行動に移さなければならない。

⑧神岡公共下水処理施設

神岡町東町にある神岡公共下水浄化センターは、民家に近いことから施設全体が密閉式なので殆んど臭いが無いことに驚いた。人口減少の続く中、料金収入の伸び悩みなど、検討課題が多いと感じた。

処理槽の屋上を視察

（委員長　前川　文博）

総務常任委員会 管内視察報告

6月13日に実施した、総務常任委員会の管内視察について、委員の感想を交え報告します。

①浸水危険箇所（河川の氾濫による浸水被害の恐れのある場所）のうち3箇所

●古川町谷地内
（吉城生コン付近）

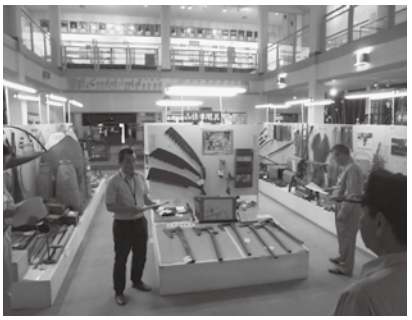
●河合町角川地内
（河合小学校付近）

●宮川町岸奥地内
（ＪＲ鉄橋付近）

宮川本川沿いで支流河川が合流するこれらの地区は、浸水被害を受けやすい地形にあり、平成16年の豪雨災害時には甚大な被害を受けました。

また、それぞれの地区内で住宅地・農耕地・学校・交通要所となっている場所でもあります。過去の被災経験を生かした防災対策はもちろんのこと、飛騨地域の上流河川との連絡を密にして、危機管理を進めることの重要性を実感しました。

②飛騨みやがわ考古民族館



館内展示物のようす

この施設は、平成7年に民俗資料館の「伝習館」、宮川町洞地区にあった「旧中村家住宅」、国指定有形民俗文化財をはじめとする「民俗資料収蔵館」がまとめられ開館した施設です。現在は予約制による開館ですが、館内には旧宮川村を中心に旧石器時代から近代にいたるまでの、考古資料、民具・民俗資料が収納・展示され、国指定有形民俗文化財をはじめとする民俗資料約一万六千点が収蔵されています。

飛騨地区の歴史を確認でき、飛騨に対する理解をより深め市民が誇りを確認できる施設です。全国に向けて飛騨の魅力を発信できる文化施設の役割を担っており、今後の活用が重要と感じました。

③まんが王国

鉄筋がむき出しになったところがあり、建物の老朽化を感じました。指定管理ではありますが、公共施設の再編も自治体経営の大きな視点から公共サービスの質の維持と施設総量縮減の両立を目指していかなければならないと感じました。

④夢館

今年から地元住民のコミュニティ施設として利便性の向上を図り、外部からの利用集客も可能となるように、現在改修工事を行っています。建築後二百年を経た家屋の補修には経費がかかりますが、有効利用できるよう、今後の活用計画が大切と感じました。

改修中の建物内

⑤宙ドーム神岡

先端科学都市構想を掲げ、「道の駅　宙ドーム」に研究者の意見を取り入れた展示館を作る計画が決定し、その工事に向けて作業が進められています。完成後は郷土の土産品を含め、観光面で飛騨市全体の情報発信基地となり、全国唯一の紹介・展示施設であり続ける運営を期待します。

⑥神岡商工会議所

今春、旧神岡図書館の跡地に開設された新事務所は、静かな環境の中で、充実した設備が館内に整備されていました。今後、従来に増した活用がされることを期待します。

⑦小島城跡

姉小路氏関連山城跡整備活用事業が今年度から始まりましたが、小島城跡は永年にわたり地元住民が保全活動に携わっておられます。この城跡は今後、飛騨市の文化遺産発掘の中心拠点となります。市民が郷土の歴史認識を深め、誇りを抱くきっかけともなる史跡です。観光事業との関係を保ちながら、飛騨市の文化価値を示してもらいたいと感じました。

現地での学芸員の解説

⑧ハートピア古川

組織改編に伴い、医療・介護・福祉の窓口が一カ所に集約されました。多くの担当部署と人員が配置され、当初は多少戸惑いましたが、現在は機能的に融合した動きが確立され、充実した市民福祉生活を支援・補佐できるよう、職員の懸命な姿が見受けられました。また、今秋開設される予定の「飛騨市こどものこころクリニック」については、現在整備工事が行われており、飛騨市のみならず県外を含む周辺地域の注目の的となっています。

（委員長　高原　邦子）